東海大学医学部付属病院
復職支援準備室　年次活動報告
2023

【はじまり】

2021 年度に東海大学医学部付属病院内に設けられた「医師の働き方改革検討委員会」における議論の中で、女性医師の妊娠・出産・育休後の職場復帰について発議がなされ、2022 年度 4 月より復職支援室ワーキンググループとして議論を開始し、2023 年度 4 月に病院内に復職支援準備室が設けられました。

また、「厚生労働省　令和5年度医療施設運営費等補助金「子育て世代医療職支援事業」」に応募し、採択を得て、補助金の交付を受けました。

以下は、2024年 4 月に提出した令和5年度実績報告書をもとにした報告です。

【令和 5 年度の活動実績と課題】

①職場の理解について

【活動実績】

医学部付属病院内で医師の働き方改革検討委員会の活動が開始され、その中で提案された復職支援のサポートを目的とする「復職支援準備室」が設けられることを、院内に周知する活動を行った。また、「復職支援」について、本院以外の病院での活動や情報を得ることを目的に、外部講師として他院の医師を講師とするセミナーを実施し、また他院を見学するなどの交流を行った。

2023 年 11 月 22 日　第 1 回キャリア支援セミナー

テーマ：仕事と子育ての両立についてみんなで語り合おう

講師：院内女性医師 2 名（育児のための退職後 10 年を経て復職した女性医師と、育児をしながら仕事を継続した女性医師）

※子育て中の医師や職場で子育て中の医師のサポートをする医師や職員の参加を得て開催した。講師の講演の後、仕事継続や復職に関する悩み、課題や解決法を話しあった。

※対面とオンラインのハイブリット、座談会形式、参加者 9 名

2024 年 1 月 31 日　第 2 回キャリア支援セミナー

テーマ：未来への再出発を支援：医師復職支援の秘訣

講師：東京女子医科大学女性医療人キャリア支援センター　横山仁子先生、和田美周子先生

※複数の診療科より、病院長をはじめとした教授、准教授、講師など上級医師を中心に参加があり、復職支援の体制、病院としての取り組みが必要であることを再認識した。

※ハイブリットの講演会形式、参加者 22 名

2024 年 1 月 27 日　大船中央病院　キャリアセミナー視察

大船中央病院における若手医師向けに行われたキャリアセミナーを視察するとともに、当院での復職支援の取り組みについて紹介し、意見交換を行った。

【今後の課題】

院内外に、当復職支援の取り組みを広く知らしめることと、子育て世代のキャリア継続や復職にあたっての課題を精査して、一つ一つ解決策を講じていくことが必要である。

②相談窓口等について

【活動実績】

院内に、復職支援やキャリア継続のサポートを目的とした「復職支援準備室」を設立した。

相談窓口としての「復職支援準備室」（2024 年 4 月からは復職支援室となる。）の連絡先を、当準備室の目的も含めて広く広報した。

・院内かわら版への掲載
・休職中の医師への郵送
・外部医療機関への資料配布
・セミナー開催時、Dr JOY（医師の勤怠管理システム）による周知や資料配布
・院内外への相談窓口広報を目的として、復職支援室ホームページを作成中である。

【今後の課題】

・近日中のホームページの公開。
・相談取次等に対応できるコンシェルジュ（仮）の常駐。

③勤務体制について

当該年度の該当実績なし

④診療体制について

当該年度の該当実績なし

⑤保育環境について

【活動実績】

当院は院内保育所を有しているが、復職準備中の人や、院内保育所を利用していない子育て中の医療従事者には、授乳・搾乳場所や、子供と過ごせるための場所がなかった。そこで当院では復職支援室のラウンジ（愛称「シーガル」）を設けた。「シーガル」にはコンシェルジュを置き（選任中）、復職やキャリア継続などの相談窓口としての利用にも対応する。「シーガル」は教職員ラウンジ内に設け、授乳室、ロッカー、搾乳した母乳の保管などが可能な冷蔵庫、調乳のためのポット、小さな子供が待機できるキッズコーナー、復職研修者用ロッカー、ノート PC などを準備し、子育て中の医師らが子供と安心・安全に過ごせる場所を確保した。

【今後の課題】

なるべく早くコンシェルジュを置くこと。

当施設を院内に広く広報すること。

⑥復職支援について

【活動実績】

復職やキャリア継続のサポートなどを目的とした「復職支援準備室（復職支援室）」を設置した。復職やキャリア継続のための支援について 2 回のセミナーを実施し、複数診療科の医師や職員への広報活動を行って、復職支援の必要性への理解を得るように努めた。

また、外部医療機関のキャリアプランニングを目的としたセミナーをサポートし、外部への発信も行った。

さらには、臨床検査科において、医学生のみならず休職・離職中の医師に対しても、子供同伴も可能とした臨床検査の講習・実技が受けられる体制を整えた。

【今後の課題】

復職支援の必要性をより広く広報する。

オンラインやバーチャルでの研修も可能とするプログラムを開発する。現在 virtual reality 機器を利用した復職研修の体制を準備中である。

以上